

2018年7月は記録的な豪雨と猛暑に襲われました。

上旬に起こった西日本豪雨は
平成最悪の豪雨となり、台風12号は
異例の逆走をはじめました。

そして、23日に埼玉県熊谷市で最高気温41.1度を
記録し、5年ぶりに国内記録を更新しました。

このような記録づくめの夏は、

いかにして起こったのか？

世界ではどうだったのか？

海は静観していただけなのか？

異常気象と温暖化をキーワードに

平成最後の夏を振り返り、

地球の未来を少しでも想像してみましょう。

講師：杉本 周作 助教
(学際科学フロンティア研究所 新領域創成研究部)

2018年
11月16日 金
13:00-14:30

学際科学フロンティア研究所 1階大セミナー室

[事前申込不要・参加自由]

2018年猛暑は 海水温異変が 原因？

平成最後の夏から読み解く
異常気象と温暖化 —